

質問に対する回答書⑮  
東京外環自動車道 八潮パーキングエリア工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書26-46動態観測工 26-46-3 計測項目及び頻度	真空圧載荷開始から盛土立上げ完了までの測定頻度は「毎日」となっておりますが、「1日1回」と理解すればよろしいでしょうか。	その通りお考えください。
2	特記仕様書 26-46 動態観測工	盛土の安定管理手法について、 道路土工 軟弱地盤対策工指針 平成24年度版 ①P383 S～δ法、②P381 S～δ/S法、③P383 Δq/Δσ～h管理図、④P382 Δσ/Δt～t法のうち、いずれの手法を活用するのでしょうか。または、それ以外の管理手法(例: Δq/Δσ～q法)を活用するのでしょうか。複数の管理手法を活用するののかも含めてご教示願います。	盛土の安定管理手法については、土工施工管理要領5-5-2に基づき、表5-5に記載の4つの方法から、適した管理手法を選定し実施するものとお考えください。
3	特記仕様書 18. 環境保全に関する事項 18-4 井戸等の枯渇対策	施工箇所の周辺影響範囲にすでに把握されている井戸が在れば、位置をご教示願います。	施工箇所の周辺影響範囲に、現時点で把握している井戸はございません。
4	工事工程表(概略工程表)	軟弱地盤対策工の①～⑨工区に示すVCM(各工区の約110日の横線)の期間における施工内容をご教示願います。	単価項目における表層排水工、鉛直ドレーン工、軟弱地盤対策工のうち真空圧密設備、観測器設置工です。
5	設計図面50/50【参考図】軟弱地盤 対策工ステップ図 工事工程表(概略工程表)	参考図と工事工程表に軟弱地盤対策工の①～⑨工区の施工の順番が示されておりますが、工区の順番の変更は可能でしょうか。	参考図および工事工程表(概略工程表)は、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、当該工事の競争参加者は施工条件等を十分配慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定め施工していただくこととなりますので、参考図および工事工程表(概略工程表)に示す施工順の変更は可能です。したがって、設計図書に示す工期や、部分引渡し及び部分使用時期、着手可能時期、作業期間等の条件を踏まえて、貴社の施工計画に基づきお考えください。
6	特記仕様書26-46動態観測工 26-46-3 計測項目及び頻度	特記仕様書に示される動態観測工の「計測項目及び頻度」のうち、計測項目の追加や頻度の増加は技術提案の対象でしょうか。	設計図書に定める内容の変更を伴う技術提案は認められません。
7	質問に対する回答書⑧R06.04.12 番号1	評価項目①の適用範囲において、「真空圧載荷期間における、特記仕様書26-36-5(5)に示す計測管理装置の運転管理及び、26-46に示す動態観測工が評価の対象になります。」と回答されていますが、これら以外は適用範囲外と考えてよろしいでしょうか。	軟弱地盤対策のモニタリング方法および管理体制であれば評価対象です。
8	特記仕様書 20. 部分引渡し及び部分使用に関する事項	20-2 工事の部分使用について、「鋼製橋脚の基部及び柱部の施工」の部分引渡し時に、躯体に養生材を設置した状態での引渡しは可能でしょうか。	部分使用時に、躯体に養生材を設置した状態での引渡しは不可能です。

9	特記仕様書 20. 部分引渡し及び部分使用に関する事項	20-2 工事の部分使用について、「上部工施工のため」の部分引渡し時に、躯体に養生材を設置した状態での引渡しは可能でしょうか。	部分使用時に、躯体に養生材を設置した状態での引渡しは不可能です。
10	特記仕様書 20. 部分引渡し及び部分使用に関する事項	20-2 工事の部分使用について、「上部工施工のため」の部分引渡し時は、足場の解体後の引渡しでしょうか。	その通りお考えください。
11	工事工程表(概略工程表)	軟弱地盤対策工の①～⑨工区に示す「盛土立上げ期間」は、真空圧載荷開始から20日後とのお考えでよろしいですか。また、盛土立上げ完了後の真空載荷期間が、①～⑨工区によって期間が異なります(例.②工区プレロード有 約90日、⑤工区プレロードなし 約90日、⑧工区プレロードあり 約25日)が、どのように期間を定めているのでしょうか。	盛土立上期間の開始は真空圧載荷の開始から20日後であり、本体盛土の施工完了後の真空圧載荷期間は90日とお考えください。 なお、プレロードありの工区については、軟弱地盤対策工設計図 44～47/50に示す、載荷盛土の施工期間を含めて盛土立上期間と表記しております。
12	特記仕様書26-46動態観測工	動態観測の計器の設置時期を早めて他工区を計測するのは、評価の対象でしょうか。	設計図書に定める条件を変更しない範囲であれば、評価の対象となり得ます。
13	特記仕様書26-46動態観測工	真空圧密載荷箇所の土質柱状図を開示していただけませんか。	入札公告(説明書)の別添1「貸与用電子媒体借用申込書兼貸与用電子媒体受領書兼貸与用電子媒体返却書」に記載の資料の他に開示可能なデータはございません。
14	特記仕様書26-46動態観測工	真空圧載荷開始から盛土立上げ完了までの測定頻度は「毎日」となっておりますが、土日・祝日等の休工日について計測の実施の有無をご教示願います。	土日・祝日等の休工日によらず、毎日実施です。
15	技術提案書様式 様式一提案2【(改善)技術提案書(2/2)】評価項目①	軟弱地盤対策工の周囲への影響観測として、仮囲い外に観測井戸を新たに設置することは協議事項であるため、提案の評価の対象外と考えてよろしいでしょうか。	協議の結果により提案の履行が不確実なものについては、評価の対象外とはなりません、高い評価は得られない可能性があります。 また、共通入札公告2-5-8(6)に該当する可能性がありますので、ご注意ください。
16	質問に対する回答書④ R06.04.08	「軟弱地盤対策の範囲外における地盤の隆起や沈下等の変状に関するモニタリングは、評価対象となります。」と記載されていますが、仮囲い外の設計の動態観測計測位置以外の地盤の隆起や沈下等の変状の計測についても評価対象でしょうか。	設計図書の内容を変更しない範囲で、軟弱地盤対策のモニタリング方法および管理体制のものであれば、評価対象です。
17	特記仕様書 26-46-3 計測項目および頻度	動態観測工の計測項目および頻度について、地中変位計(手動)の記載がございますが、想定されている計測間隔(m)をご教示願います。	地中変位計の計測間隔は1m毎です。